

第 54 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 3 年 9 月 8 日 (水) 午後 10:30~11:30
2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階
3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 3 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、橘智史、小倉拓

欠席委員の氏名 安達克典、坂本耕作、森下憲一

放送事業者側出席者氏名 泉清、生田奈穂

リモート参加：安田豊、角田圭三

欠席者氏名 洞周作、大崎健志、濱田由希子

議題 1) 局側挨拶 (現状報告)

2) 議題

□番組聴取

8 月 8 日(日)朝 5:00~放送の特番「真剣 4 時スク！しゃべり場」の
ダイジェストと、9 月 4 日(土)「飛び出せ!!社長 泉きよしです。」内
で放送した紀伊半島大水害についてのインタビューを聴取、ご意
見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉: 本日はお集りいただきありがとうございます。夏はちょうど FM TANABE が放送スタートした 8 月 8 日もあり特別番組を放送しました。全国的にコロナの感染拡大の影響もあり、力を入れている和歌山ファイティングバーズの試合中継も延期が続いている状態です。そして 9 月 1 日は開局記念日ということで、おかげさまで 12 年になります、13 年目に入っています。

今回資料を配布させていただいております。まずは、田辺市長様宛に臨時災害放送局に関するガイドライン協議会の要望書を提出しました。臨時災害放送局は市長が免許申請を国にしまして立ち上げます。その時に放送局が無ければ一から免許人や機材を用意して作るわけですが、放送局が地域にある場合はその放送局が臨時災害放送局の運営を任される事が往々にしてあります。必ずというわけではありませんが。数年前に田辺市との臨時災害放送局の協定を結んでおりまして、いざという時は運営は FM TANABE がするとなつてい

ます。ただ、実際やるとなるとどこからどこまでやるのか、コマーシャルを流していいのかなどを具体的に決めていなかつたので今回協議会を作ってくださいと要望書を出しました。続きまして、令和3年度田辺市防災訓練実施要綱ということで、本来9月5日午前9時から毎年行っています田辺市の「家族考える防災の日」の防災訓練と連携して特別番組を行う予定でしたが、コロナの影響で中止になりました。しかし、今年は紀伊半島大水害から10年ということで被災した各地区の代表の方々にインタビューを行い9月4日、5日（5日は東日本大震災関連のインタビュー）に渡って放送しました。

2. 議題

～番組聴取～

泉：まず最初にお聴きいただきました「真剣4時スク！しゃべり場」朝5時から高校生に来てもらい放送しました。

小倉：生放送で高校生が5時に来るのは凄いですね。

泉：子どもたちは日頃体験出来ないことをしたいと思ってくれる子もいますので良かったなと思います。

野村：これだけ元気いっぱい前向きな若者がいてくれて田辺市の未来は大丈夫だと思いました。次回は市長も加わって討論してもらい

たいですね。

泉：続いて、紀伊半島大水害についてのインタビューについて。今回防災訓練が中止になりましたが、水害から10年という事と防災の日にちなんでインタビューを放送しました。今回聞いていただいたのは旧田辺市地域でしたが、他にも龍神、中辺路、大塔、本宮、とそれぞれ放送しました。

小倉：各エリアでインタビューされたんですね。

泉：そうですね。その地域の中で当時の様子に詳しい方に出でました。

野村：あの大水害の時は、自衛隊が来てくれましたので上秋津の農村センターに泊まってもらいましたね。

橋：僕は消防団員なので救助に向かいました。人手はたくさんありましたが、結局人力で無理せんとボールやザルなんかを使って作業した記憶があります。あと、消火栓の場所がいざという時に思い出せない事がありました。防災訓練では水の出し方はやるのですが、消火栓の場所はわかつっていても忘れてしまう事がわかりましたね。

新庄中学校が防災に力を入れているので、消火栓のマップ作成をお願いしようかと思っています。

野村：いざとなったら中学生たちの力は大きいですからね。

泉：このように聴いて下さった方が「あの時こうだった…」と話すきっかけになってくれたと思います。あと、地域の人たちと連携をとったりラジオを聴いてくれる方々の啓発になれば良いなと思ってやっています。高校生の楽しい番組のようなものもあれば、防災に関することもしっかりとやっていきたいと思います。

3.その他番組への質問・意見

特になし

4.今後の放送に対する意見・要望

小倉：防災の協定というのは今の時点でどうなっているのですか？

泉：現時点では災害時報道協定を結んでいます。そして臨時災害放送局はFM TANABEが受任する。この二つがあります。

小倉：臨時災害放送局というのは、FM TANABEの放送ではなくなるかたちなのでですか？

泉：免許上はそういった感じですね。管理上は市長の放送局になります。その時のトップは市長です。申請を市長からするのが臨時災害放送局なので、その分早く免許がおります。

小倉：FM TANABE のままで行うのとは違うのですか？

泉：FM TANABE のまま使う事にはなります。ただ、責任者が市長になるだけです。

橋：番組の内容も全部変わるのでですか？

泉：いや、それも踏まえて今回決めたいと思っています。全国のコミュニティ放送局にもアンケート調査を行っていますが様々なかたちがありますね。しかし普段放送をやっていない人がいざと時に出来るかと言われるとそうではないので、通常の放送を使いながら入ってきた情報は即対応するといったことをしている放送局が多いかなと思います。

小倉：災害の規模にもよりますもんね。

泉：そうですね。そんな中、コマーシャル流していいのか音楽流していいのか、そういうガイドラインを決めていきたいと思っています。

安田：今の話に加えてお伝えしておきたいのが、もう一つ大きな違いがあります。FM TANABE は送信機の出力を 20W でやっていますが、臨時災害放送局は全国的に出来るだけたくさんの人々に聴けるように 100W まで出してもいい事になっています。ただ、田辺市

はまだ 100W の送信機を持っていません。だからわたしたちは田辺市の方々と協議する中で、できれば田辺市に 100W の送信機を持てるようにしてもらった方がいいのではないですかという事もお話しようとしています。これは凄く重要なポイントになります。

泉：100W の出力で実際どこまで届くのか、計算上の図面は出しますが本当の電波測量をしたわけではありません。いざという時は本当の測量結果もないといけないので通信局の方で今実験を行っています。みなべ町で臨時災害放送局、100W送信機で電波を出したらどうなるのかという実験を通信局が行いました。みなべ町は 81.4MHz と決まっています。田辺市は西牟婁振興局に送信所があるので、そこの送信機をそのまま 100Wに入れ替えてどこまで届くのか、その他の機材はそのままでいいのか、その辺りも今後やっていきたいと思っています。

小倉：20Wで今各エリアカバーしていますよね。それを 100Wに変えたらエリアが広がるのですか？それとも受信感度が上がるのですか？

泉：受信感度も上がりますし、飛ぶ距離も数キロ程度は広がります。ただ、20Wの 5 倍になるかといわれたらそうではないです。

小倉：山間部の方でも届くようになるのですか？

泉：今聴こえていないエリアでどんどん聴こえるようになるかと言
われたらそうではなくて、今聴こえている範囲が強くなる感じです。

安田：山で遮られているところは 100W にしてもなかなか難しくて、
そういったところは中継器を置くといったところがあるのですが、
そうなるとお金がかかりすぎるので届かないところは今のようにケ
ーブル経由で聴いてもらうという両方セットで考えてもらう必要が
あります。

野村：100W 送信機の調達は自治体がやるのですか？

泉：基本そうです。放送局は 20W しか出せないので。100W の機器
を 20W に抑えて出力する送信機もあります。

小倉：20W の送信機は何か所あるのですか？

泉：西牟婁振興局の一か所だけです。

泉：最後になりますが、講談風のラジオドラマ「弁慶記」を来年 2022
年の 3 月から 5 月まで全 60 話放送する予定です。地域の皆様にもた
くさん出ていただこうと企画しています。完全な創作ということで
はなくして、いろんな資料を集めながら作っています。プロで活動さ
れている方々にも協力していただいております。「なぜ、いま？田辺

に、再び武蔵坊弁慶の力を！！」コロナ禍の中、元気になってもらいたいという想いでやっています。ラジオドラマといえども、制作費用はかかります。その費用に関してクラウドファンディングも含め、スポンサーを集めているところです。

安田：今お話ししがあった通り、協賛いただきたいところにお願いにまわっているところです。番組審議会の皆さんも何かの時にはサポートいただけだと大変ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月
日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし